

みずほCustomer Desk Report 2021/11/30 号(As of 2021/11/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.71
TKY 9:00AM	113.74	1.1291	128.46	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	113.96	1.1312	128.55	1.3341	0.7143
SYD-NY Low	112.99	1.1259	127.50	1.3361	0.7159
NY 5:00 PM	113.53	1.1293	128.19	1.3288	0.7114
				1.3318	0.7143
NY DOW	35,135.94	236.60	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	15,782.83	291.18	日本10年債	0.0700	0.00bp
S&P	4,655.27	60.65	米国2年債	0.4942	▲1.08bp
日経平均	28,283.92	▲467.70	米国5年債	1.1573	▲1.04bp
TOPIX	1,948.48	▲36.50	米国10年債	1.5013	2.05bp
シカゴ日経先物	28,330.00	160.00	独10年債	-0.3250	1.60bp
ロンドンFT	7,109.95	65.92	英10年債	0.8735	4.90bp
DAX	15,280.86	23.82	豪10年債	1.7690	▲1.80bp
ハンセン指数	23,852.24	▲228.28	USDJPY 1M Vol	7.97	▲0.91%
上海総合	3,562.70	▲1.39	USDJPY 3M Vol	7.68	▲0.56%
NY金	1,782.30	▲3.20	USDJPY 6M Vol	7.56	▲0.55%
WTI	69.95	1.80	USDJPY 1M 25RR	-1.58	Yen Call Over
CRB指数	225.718	▲1.01	EURJPY 3M Vol	7.93	▲0.08%
ドルインデックス	96.34	0.25	EURJPY 6M Vol	8.12	▲0.19%

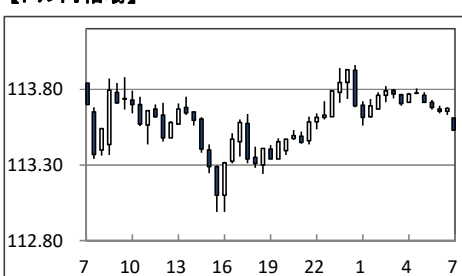
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月29日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	11月 -6.8	-
	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	11月 14.1	14
	19:00	欧 サービス業信頼感指数	11月 18.4	17
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	11月 -0.2%/5.2%	-0.4%/5%
11月30日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	10月 7.5%	1.0%
	05:05	米 パウエルFRB議長 証言テキスト	オミクロン株は経済活動の下振れリスクとインフレ動向に不確実性をもたらす	

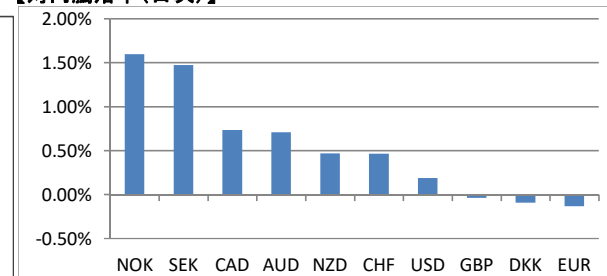
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月30日	10:00	中 PMI(製造/非製造)	11月 49.7/51.5	49.2/52.4
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	11月 0.1%/4.5%	0.8%/4.1%
12月1日	00:00	米 パウエルFRB議長 公聴会	-	-
	00:00	米 コンファレンスボード 消費者信頼感	11月 111	113.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.00	1.1260-1.1330	127.80-128.80

【マーケット・インプレッション】

昨日は先週末からの新型コロナウイルスの変異種の感染拡大懸念からリスクオフ相場が継続。日本が全世界からの外国人の新規入国を停止する意向との報道に、後場から日経平均株価は下落幅を拡大させ、リスクオフの円買いにより一時112.99まで下落した。海外時間に入ると、欧州株価の持ち直しやドイツ製薬会社がオミクロン株対応のワクチンが来年度に提供可能との見方を示したことにより、再び113.96まで上昇した。その後は米長期金利が再び1.5%割れとなる中で113.50台まで水準を戻した。本日のドル円は底堅い展開を予想する。先週末からの変異株の感染拡大リスクは完全に払しょくできているわけではないものの、その特性の判明にはもう少し時間がかかるものと思われ、追加的なヘッドラインがなければ、やや落ち着いた値動きになるとと思われる。また、本日は、月末五十日ということもあり、日中は支えられやすい展開となるとと思われる。

東京	東京時間のドル円は113.74レベルでオープン。新型コロナウイルスの変異種感染拡大を警戒して神経質な相場付きとなり、午前中は追加の材料に乏しく小動きとなるも、日本が全世界からの外国人の新規入国を停止する意向が伝わったこともあって午後に日経平均の下落幅が拡大し、リスクオフの円買いに波及。一時112.99まで下落した後、113.10レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113.10レベルでオープン。欧州株反発、仮想通貨の大幅上昇など、全般的にリスク警戒の動きが一服した模様。為替市場は円売り、ドル売りが優勢となり、ユーロ円など、クロスの上昇幅が顕著だった。ドル円はその連れ高となり、一時113.64まで戻し、113.62レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は113.62レベルでオープン。朝方は米株先物上げ幅拡大や米金利上昇を受けて、買い優勢の展開が継続し、一時113.96まで上昇するも、その後ダウ平均が上昇分をほぼ全て吐き出し、米10年債利回りも1.51%付近まで低下したことから、ドル円も売りに転じ113.56まで反落。その後、ダウ平均が持ち直したことからドル円も下げ渋る。午後は113.60付近でもみ合い。終盤にパウエルFRB議長がオミクロン変異株について当局の責務にリスクとなるとの見方が伝わると米金利低下とともにドル売りが進み、安値更新後、113.53レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.1280レベルでオープン。朝方は米金利上昇を受けて1.1259まで下押し、その後、米金利が低下に転じると下げ渋る。午後はじりじりと1.1280付近まで買い戻されるも、EU圏内でもオミクロン変異株の感染者が報告される中、積極的なユーロの買い戻しが見られなかった。終盤にパウエルFRB議長がオミクロン変異株への警戒を示し、ドルが売られたことから高値を更新し、そのまま1.1293レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。